

製品名: SOD-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18099**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	SOD2
別名	SOD2; Superoxide dismutase [Mn], mitochondrial
遺伝子 ID	6648.0
SwissProt ID	P04179
免疫原	抗血清はヒト SOD2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

背景

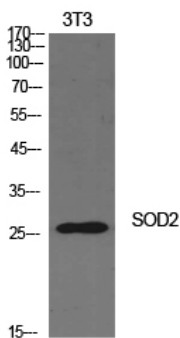
この遺伝子は鉄/マンガンスーパーオキシドディスムターゼファミリーのメンバーです。ホモテトラマーを形成し、サブユニットごとに1つのマンガンイオンと結合するミトコンドリアタンパク質をコードします。このタンパク質は酸化的リン酸化によって生じる

スーパーオキシド副産物に結合し、過酸化水素と二原子酸素に変換します。この遺伝子の変異は、特発性心筋症（IDC）、早期老化、孤発性運動ニューロン疾患、および癌との関連が報告されています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する疑似遺伝子が1番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2016年4月],触媒活性: 2スーパーオキシド + 2H(+) = O(2) + H(2)O(2),補因子: サブユニットあたり1個のマンガンイオンに結合する,疾患: SOD2の遺伝的変異は、糖尿病性腎症の感受性と関連している[MIM:612634]。これは、6型糖尿病の微小血管合併症（MVCD6）の感受性とも呼ばれる。糖尿病性腎症は、糖尿病が腎臓の微小血管（糸球体）に長期的に影響を与えることで生じる腎疾患であり、結果として腎機能障害を引き起こす。尿タンパク質の増加と腎機能の低下が特徴として挙げられます。機能: 細胞内で通常生成され、生物系に毒性のあるラジカルを破壊します。オンライン情報: スーパーオキシドディスムターゼのエントリ,オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース,PTM: 酸化ストレス下でニトロ化されます。ニトロ化と酸化が相まって触媒活性が阻害されます。類似性: 鉄/マンガンスーパーオキシドディスムターゼファミリーに属します。サブユニット: ホモテトラマー,

研究分野

ハンチントン病;

画像データ



SOD-2 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。